

# 食育だより

平成29年6月

尾道市立向東小学校 No. 3

文責 栄養教諭(家部)

日中は少し蒸し暑さを感じる頃となりました。運動会が終わり、新たな活動に向かって、どの学年の子どもたちも元気よく、毎日を過ごしています。

## ～2年生が大活躍！！～

5月の終わりの給食に旬も終わり近づいた「そら豆」が登場しました。2年生の力を借りて、今年も生のそら豆を使うことができました。

5月30日(火)の3校時が1組、4校時が2組の日程で「そら豆のさやむき」をしました。地域のものがそろわないということで岡山県産の「一寸豆」という品種のものが届けられました。事前に「そら豆くんのベッド」などの本を読んでいた2年生は、観察しながら、楽しくさやむきをしていきました。



さやに入っている豆を見せあったり、「さやがふかふかだよ。」と、教えあったりなど楽しくむきました。



むき方やさやの置き方など、児童たちの個性が見られました。



家でむいたことのある児童は、思ったよりも少なく驚きました。



むいた後には、「かんさつカード」に豆やさやの色、におい、触った感じなど、体験を通して見たり、感じたりしたことを自分の言葉や絵で残すことができました。

## <縦割り班ランチルーム給食が始まりました。>

学校の大きな行事である運動会が終わって迎えた6月。縦割り班活動の一つであるランチルーム給食が始まりました。昨年度の活動の反省を生かし、3・4年生の組み合わせからの開始です。

昨年度、「学校生活にも慣れてきている学年同士の組み合わせから始めたほうが混乱が少ないのでは・・・。」という意見から、中学年の組み合わせでのランチルーム給食をスタートしました。

初めての試みによる混乱は、各学年を通していろいろ見られたものの、3・4年での開始が一番適切だったと判断されました。



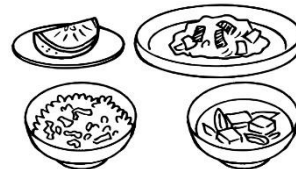
今年度の初日（6月6日）は、昨年度の経験をもとに順調なスタートとなりました。最初にランチルームに来た3年1組は、自分の位置づく班を聞くときちゃんと1つずつ空けて、席につき、給食の準備を始められました。

初めてのランチルーム給食は、行儀のよい静かな幕開けとなりました。

ランチルーム給食は、学校行事等を考慮し、週2日です。毎日実施していないため、「きょうは、ランチルームはないの？」と聞いてくる児童もいます。また、ランチルームに給食を運んでいると「きょうは、どの学年ですか？」「ぼくは、まだここで食べていません。」など、いろいろな声を聞くことができます。今のところ、特別なことはしていませんが、食べる場所が変わるといっただけで児童たちの楽しみは増すようです。

### <朝ごはん、1日の活動源として、3回の食事の中で一番大事なもの>

- ① 体温が上がり、元気に活動できるようになります。
- ② 体と脳へエネルギーを供給します。
- ③ 正しい生活リズムをつくるできるようになります。
- ④ おなかを刺激して、排便習慣がつかます。



<給食についてのご意見・ご感想などお寄せください。>